

人との繋がりを大切に 地元への恩返し

今年4月、大口山野で「ミニスーパー山野楽しそう」が

開店しました。お店を開いたのは、健康運動指導士でさまざまな地域活動を行っている土生さとみさん。地域のスーパーが閉店したことを受け、困っている地域の人のために率先して立ち上がりました。

開店にあたり場所を探していたところ、三浦栄子さんより「三浦医院跡地を地域の人のために使ってください」と申し出があり、場所を提供してもらったといいます。土生さんは「一人では店をオープンすることはできなかつた。農家さんや地元の人協力により運営できていることに感謝しています」と話しました。お店が開店してからすでに1か月以上が過ぎた現在、土生さんは「お店に通うのに数km歩いて来られる人もいます。歩くことは健康に良いので、高齢者が外に出る機会を作れたことがうれしい」とお店の存在が地域の健康促進に役立っていることに成果を感じ

ているようでした。

伊佐で生まれ育ち、地域の人々に支えてもらって生きてきたという土生さん。進学した福岡のスポーツ専門学校を卒業した後は九州各地で仕事をしていたそうですが、地元で恩返ししたいという思いから帰郷し、その後は地元で体操教室やヨガ・介護予防教室などさまざまな活動を行ってきました。「人と人を繋ぎ、手を貸してほしい人に手を差し伸べられる街づくりに貢献したい」と土生さん。未来の伊佐を見据え、今若い世代に引継いでいくことで今後も自身の始めた活動が続いていっ

てほしいと思いを打ち明けました。

そんな土生さんは現在、新たな取り組みとして昨年10月から「みんなでご飯の会」を有志4人で立ち上げ、定期開催しています。当会では、子どもは無料、大人は設置された募金箱に募金をお願いする形で食事を振る舞っています。子どもも大人も関係なく、多くの人来てもらえたらうれしいとのこと。高校生が子どもも宿題を教えるあげられる場などもあり、地域の人の笑顔のためにいろいろな活動をしているそうです。興味のある人はぜひ参加してみてください。



▲4月にオープンした「ミニスーパー山野楽しそう」
Open: 火・木・土 (10:00 ~ 13:00)



▲みんなでご飯の会のサポーターのみなさん。
毎月第3日曜日に開催
会場：毎月変わりますので、伊佐市ホームページでご確認ください。



土生 さとみさん

あっぱれ! Vol.27
伊佐盛
イサモリ